

おいしいお米がとれる町

五霞西小学校 五年 渡辺 成泉

私の住む町は、田んぼや畑が広がる自然ゆたかな場所です。五月になると田植えが始まり、田んぼはなえで緑一色になります。田んぼをのぞくと、おたまじやくしがいたり、ほう年エビがいたりします。昔から、ほう年エビが大発生する年は、ほう作になると言われているそうです。おいぢやんの田んぼで、ほう年エビが泳いでいるのを見つけたので、今年もほう作になるといいなと思います。

今年はおいぢやんの田んぼの近くにコウノトリがやってきました。大きく羽を広げて飛んでいる鳥が二羽、こんなに近くでコウノトリを見られるとは思っていませんでした。コウノトリは、せつめつきぐしゅに指定されている鳥だと知って、びっくりしました。コウノトリは、たくさんの生き物が住めるようなゆたかな自然かんきょうが必要だそうです。そんなコウノトリがやってくるほど、私の住

む町は、自然がゆたかな場所なんだなと思
いました。そんな場所で作られたお米は、とっ
てもおいしいです。

私は、おいしいちゃんが作ったお米を毎日食
べています。パンやめんも食べたりするけど、
たきたてのごはんは最高です。あまいかおり
がして、まっ白なごはんはピカピカに光って
います。一口食べると幸せな気持ちになりま
す。四月の種まきから、田植え、水の管理や
草かりなど、毎日毎日おいしいちゃんは田んぼ

の管理をしています。体がつかれてしまう事
もあるみたいだけれど、おいしいお米を作る
ために、一生けんめい田んぼの仕事をしてく
れています。九月のいねかりまでもう少し、
今年もおいしいお米がとれるのが楽しみです。
私には今年、もう一つ楽しみがあります。

それは学校で、クラスの人など作ったお米
をしゃうかくする事です。私の学校では、五
年生が田植えといねかりを体験します。五月
にクラスのみんなと田植えをしました。田ん

ぼにはだしで入った時は、土があたたかくて、
なんだか気持ちよかったです。でも、なえ
を植えながら進むのは、とっても大変でした。
まっすぐ進もうと思ってもまがってしまっ
り、なえを少しとろうと思ってもたくさんと
ってしまったり、足はどろ水にはまっ
って、一列やるだけでとても時間がかかりま
した。終わった後に見たら、まがっている所
があったり、なえがかたまって
いる所があったり、上手にはできなかつたけれど、みんな
で一生けん命やったので、たっせい感があり
ました。九月のいねかりが楽しみです。

今年はおじいちゃんのお米と、学校で作っ
たお米と、両方のじゅうかくが楽しみです。
ほう年エビもいたし、コウノトリもやっ
てきましたし、いつも以上においしいお米がとれるよ
うな気がします。ホカホカごはんを食べて、
パワーをたくわえて、自然に感しやして、毎
日元気に過ごしたいと思います。